

# 公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和4年度第6回理事会議事録

日時：令和4年10月19日（水）19時00分～21時00分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：末永

出席：

（東京都臨床検査技師会事務所にて参加）6名

浄土、府川、飛知和、末永、高橋監事、佐野監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）9名

原田、杉岡、中村、米山、星野、三橋、近藤、岩瀬、山方

（職場から参加）12名

相馬：勤務先 東京都板橋区大谷口上町30-1 日本大学医学部附属板橋病院

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

米谷：勤務先 東京都三鷹市下連雀5-4-1 杏林大学保健学部臨床検査学科

加藤：勤務先 東京都多摩市永山1-7-1 日本医科大学多摩永山病院 中央検査室

浅野：勤務先 東京都足立区江北4-33-1 東京女子医科大学附属足立医療センター 検査科

堀口：勤務先 東京都港区西新橋3-19-18 東京慈恵会医科大学附属病院 輸血細胞治療部

畑田：勤務先 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院 診療技術部 臨床検査室

市川：勤務先 東京都西新宿6-7-1 東京医科大学病院 輸血部

神田：勤務先 東京都八王子市館町1163 東京医科大学八王子医療センター 検査室

山崎：勤務先 東京都江戸川区船堀4-1-1 タワーホール船堀6階 江戸川区医師会医療検査センター 総務課

関口：勤務先 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部付属病院 臨床検査部

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MY ユニット

計27名

欠席：竹澤

議事の経過の要領およびその結果

定刻

東京都臨床検査技師会副会長 杉岡陽介は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。議事途中、東京都臨床検査技師会会長 原田典明に議長を交代した。

## 1. 議事録

- ・令和4年度第5回理事会議事録が承認された。
- ・2022年度第6回執行理事会議事録が承認された。

## 2. 報告事項

### 1) 学術部

#### (1) 学術部会

- ・9月26日及び10月17日に学術部会を開催した。
- ・他県会員の参加に関する全研究班の対応を確認した。執行理事会に諮り、10月17日の学術部会にて今後原則非会員は受付せず、可能な限り都臨技に入会してから参加いただくこととした。但し、個別問い合わせに関しては負担にならない程度に、各班長にて対応する。
- ・イベントペイのクレジットが使用できないことに関して、会員からの意見も特に上がっていないため、現状は使用をこのまま続行することとする。
- ・実技研修会で標本を使用する際に、各研究班が申請書を作成し理事会の承認を得ることを依頼した。
- ・学術部会のZoomアカウントがクラウド容量オーバーにより追加料金が発生した。今後は幹事会やテストで使用したデータは6ヶ月経過後、研修会データは1年経過後に学術統括部長が消去することとした。
- ・会長から講義途中のキーワードを終了時に入力する必要があるのではという意見があった。現段階ではそのような技術が充足していないため、各研究班で検討し提案することとした。
- ・各学会からガイドラインが作成されており、最新情報をHPに掲載してはという意見があった。最新情報の確認作業が煩雑であることから、代案としてHPに各学会のガイドラインのリンク先を掲載する提案をした。
- ・11月末までに事業計画案と予算案の提出を依頼した。
- ・情報システム研究班、免疫血清研究班、輸血研究班の幹事に北支部会員がいないため、推薦を依頼する。
- ・各研究班用に購入した新規パソコンの配布と古いパソコンの回収について指示いただきたい。
- ・HP及びLINE掲載依頼は研究班のHP担当者が各班長と近藤理事に要望書提出し、近藤理事から広報委員会に要望書を提出

することとした。

- ・杉岡副会長からストリーミング配信についての質問があった。現状は初級研修会のみストリーミング配信されている。オンデマンド形式での配信についての提案もあったが、外部講師に配信に関しての許可を得ていないため、現段階では困難と考えている。講師依頼状に配信に関する内容を記載することとし、雛形を近藤理事が作成し理事会に提出する。自己研修登録をどのように扱うかなどの課題もあるが、配信する方向で検討を進めてほしい。

- ・パソコンの配布に関してはセットアップが必要である。米山理事が2022年中に対応する。

#### (2) 編集委員会

- ・10月号会誌発行の遅れについて報告があった。日本廣業社は必ず10月中に納品すること。

- ・役員、委員等の名簿確認を行った。施設名称に空白は入れないこととする。

- ・個人に依存して作業が止まらないように日本廣業社に依頼してほしい。

#### (3) 精度管理調査委員会

- ・10月18日東京医科歯科大学にて試料の準備を行い、作業及び発送は滞りなく終了した。

- ・緩衝材が余ったため、報告会CD発送時に使用する。

- ・2021年度の報告会を9月中に行った。193名の参加申込があり、正答率8割以上の参加者は122名いた。うち2名は会員番号を間違えていたが氏名と会員番号の下5桁が合致したため登録を行った。事前申込していない5名が回答していた。対象者に個別確認して点数をつけるかを検討中である。正答率8割に満たない参加者が10名程度おり、再試験をするか確認中の施設がある。

- ・委員会から来年度の報告会はZoomもしくは会場にて1日で行いたいと要望があった。参加できなかった施設についてはHPにパスワード付きPDFを掲載するなどに対応する予定。

#### (4) 生涯教育制度実行委員会

- ・2022年9月分の報告がなされた。都臨技2021年精度管理調査報告会登録者数122名、学術研究班研修会10回開催延べ1394名、自己申告会場研修延べ214名の登録があった。

### 2) 学会運営部

#### (1) 第17回東京都医学検査学会

- ・事前参加登録は10月19日現在92名。

- ・プログラム集の発送準備中、10月28日に全会員に発送予定、10月31日か11月1日に届く予定である。

- ・賛助企業は32社であり、10月14日現在29社から約400万円の入金があった。

- ・事前登録を行っていない理事へ登録依頼があった。

- ・当日の担当と事前準備はあるのか研究班班長から質問があった。今回は全体会議を行わず、運営マニュアルに役割、担当を明記して全スタッフへ配布し、質問があれば個別対応する。運営マニュアルは今月末までに1回目を送付する予定である。

#### (2) 学会長推薦委員会

- ・次期学会長に12月の学会時にはテーマやポスターがあると望ましいこと、執行部のメンバー決定を提案した。近日中に打ち合わせの予定。

### 3) 支部運営

#### (1) 施設連絡者会議

- ・第17回東京都医学検査学会内で開催予定である。テーマは「タスク・シフト/シェア講習会について(担当 杉岡副会長)」と「臨地実習指導者講習会について(担当 浅野理事)」の予定である。

#### (2) タスク・シフト/シェア講習会

- ・タスク・シフト/シェア講習会を10月16日に国立病院機構研修センターで開催した。

- ・実務委員をお願いした方に実技研修未受講の方がおり、日臨技から実務委員として対象外とされた。支部長は実務委員選定の際に受講の有無を本人に確認すること。今回の実務委員の行動費は都臨技より支給する。

- ・今回は講師調整中であるが11月23日に同じ場所で予定している。11月22日に事前準備を行う。

- ・未受講の理事は早めに講習会を受講すること。

- ・今後の運営について支部で領域を固定していくのか質問があった。当面は領域を固定して運営を行うが、今後は複数領域の担当ができるようにする。

- ・プロジェクター用の変換アダプターを用意できないか要望があった。日臨技に購入を要望し、不可だった場合都臨技で用意する。

- ・茨城で講習会を開いた際、受講者にコロナ感染者が出たが技師会への報告が遅くなり、他の受講者への連絡が遅れた事例があった。引き続き注意喚起を徹底する必要がある。

#### (3) 選挙管理委員会

- ・報告事項なし。

### 4) 地域保健共催事業部

#### (1) 地域保健共催部会

- ・検査と健康展の運営マニュアルをスカイツリータウンに提出した。

- ・スカイツリータウンから指摘があった部分を修正した広告をHP広告として掲載することとなった。

- ・スカイツリータウン周辺に新聞折込み広告1万部を11月6日に配布する。

- ・東支部のスタッフが未選出のため早急をお願いしたい。

#### (2) STI 予防委員会

- ・11月25日に新渡戸文化短期大学でSTI予防教室を開催予定。

- ・11月9日にSTI予防委員会開催する。

- ・STI予防委員に参加希望の会員がいた。11月9日の委員会に参加してもらい、委員として参加意思があるようであれば常任委員として次回推薦書を提出する。

#### (3) 学生対象講演会

・第17回東京都医学検査学会内の学生企画で講演会とディスカッションを行う。講演は米谷理事と竹澤理事に変更になった。内容は学生と協議中。

#### (4) 教育施設連絡者会議

・教育施設連絡者会議を10月3日に開催した。  
・学会参加推進のための広報として、教員より学生向けのチラシを別途作成し学校で配布及び掲示をしたいという意見があり、学会事務局へ作成依頼をした。  
・タスク・シフト/シェア講習会の動画を授業で使用したいという意見があったが、教育協議会から日臨技に要望を出すように回答した。

#### (5) フォーラム委員会

・9月28日に第2回フォーラム委員会を開催した。  
・今年度の事業である都民公開講座のテーマを「新型コロナウイルス」とした。サブテーマを「ワクチン接種」と「検体採取と検査」とし、2つのコンテンツ動画を都臨技のHPにアップロードする予定。期間は2023年1月から2月。10月中に講師を選定し、11月には依頼開始の予定。講師の1名は医師または学識経験者、1名は技師の予定。広報手法について11月中に決定し、12月には活動を開始する予定。

### 5) 会計部

#### (1) 会計部報告

・2022年9月の収支会計報告がなされた。  
・2022年前期の事業活動報告がなされた。  
・理事と広報委員会の行動費は前期・後期の2回の振込みとする。表彰選考委員会、役員選出委員会の行動費は年度末1回の振込とする。  
・次週後期の仮払いを行うが、中止が決まっているまつり関連の仮払いは行わない。

### 6) 庶務部

#### (1) 庶務部報告

・会員数報告がなされた。正会員数7287名、賛助会員67社、学生会員8名、名誉会員14名。  
・会費未納の賛助会員に請求書を再送付した。  
・株式会社諒和から退会願あり、社印押印済みの退会届の提出を依頼した。  
・新入会会員の審議依頼がなされた。  
・賛助会員申込書改定の審議依頼がなされた。  
・会議室の備品整理・廃棄について規定した文書を作成した。一部修正して運用をする。  
・事務員さんから重量のあるごみについて配慮いただきたいと要望があった。  
・10月30日開催の理事研修会について、担当理事へスライド作成依頼がなされた。  
・11月11日に中間監査を行う予定。  
・(公財)公益法人協会テーマ別セミナーへの参加報告がなされた。

#### (2) 役員候補者選出委員

・役員候補者選出規定の第6条3項を改定し、役員候補者承諾書の提出場所を明記した。  
・10月の委員会は開催せず。

### 7) 事務局

#### (1) 事務局報告

・2022年9月の事務局報告がなされた。  
・日本ヘルスケアダイバーシティ学会より広報依頼があったため、HP掲載とLINE報告を行った。  
・11月5日(土)9時~15時に事務所の消防点検が行われる。  
・日臨技から政策渉外関連事項等における現状把握のための調査協力施設の選定依頼があった。今回は永寿総合病院柳橋分院、JCHO東京城東病院、三井記念病院、杏林大学医学部附属病院の4施設を選定した。  
・アフラックの団体保険扱いはがん保険のみ対象。その旨を賛助会員からのお知らせとしてHPに掲載予定。  
・MTJからWEBセミナーの開催案内があったが、賛助会員ではないため都臨技での広報活動は行わない。  
・群馬県高崎市で開催される第72回日本医学検査学会の運営事務局よりポスターやチラシはどの程度必要か打診があった。しかし、現在は対面での講習会がなく配布する機会がない。HPにリンク先は掲載されているが目立たないのでトピックスなどに掲載すべきか検討依頼がなされた。紙媒体での送付は施設別の場合タイムリーではないこと、個人宛の場合約7000名とかなり負担となることから、HPやLINEを通じた広報活動を行うこととする。

#### (2) 表彰選考委員会

・2022年第2回表彰選考委員会の報告がなされた。  
・現在、永年会員の表彰対象者を抽出しているが、2019年度からの4年度分のため時間がかかっている。対象者も多く、12月の学会での永年会員の対面表彰は困難であることがわかり、功労者と永年幹事のみ表彰する予定。名誉会員は対象者なし。

#### (3) 広報委員会

・2022年9月分の報告書確認がなされた。

### 8) 副会長報告

#### (1) 杉岡副会長

・10月初旬に韓国で開催されたIFBLS参加報告がなされた。

- ・2026年のIFBLSは幕張メッセにて開催、担当は北日本支部の予定。
- ・日臨技より次年度役員選出委員の選出依頼あり。首都圏支部は神奈川県に打診中である。

#### (2) 中村副会長

- ・70周年記念誌の原稿が揃い、日本廣業社へ入稿済みだが返信がない状態である。発行時期について連絡する予定。
- ・日本臨床検査技師連盟の参加報告がなされた。代表長沢氏、副代表丸田氏、綿貫氏、中村副会長、会計責任者深澤氏、会計代表職滝野氏が決定した。

#### (3) 米山副会長

東京都歴史文化財団から東京都文化施設招待カードを2000枚いただいたが、現在、会員160名の申込みに残っている。学会の参加者に配布してもよいか意見が上がった。原田会長、相馬学会長が了承した。

### 9) 会長報告

- ・10月3日に開催された東京都医療従事者ネットワークの参加報告。東京都医療従事者ネットワークの講習会をWEBで企画している。日程など詳細が決まり次第提示するので参加をお願いする。
- ・東京都看護協会より来年度の看護フェスタを看護協会会館にて2023年5月13日に現地開催する予定であり、各団体に参加依頼があった。地域保健共催部長へ準備依頼があった。
- ・1都8県会長会議が主催する人材育成研修会が長野県で11月12日に開催される。長野県臨床検査技師会の70周年記念式典も同時に開催される。原田会長、杉岡副会長、中村副会長、加藤理事、畑田理事、神田理事が参加する。
- ・11月13日の1都8県会長会議に原田会長、杉岡副会長、中村副会長が参加する。
- ・10月1日、2日に関甲信支部・首都圏支部医学検査学会が開催された。現地参加者は会員278名、賛助会員50名、学生が60名、一般市民12名、合計400名であった。WEB参加者は10月3日現在、会員786名、賛助会員50名、学生115名、合計951名であった。10月末までWEB聴講が可能である。
- ・宮島会長の件で質問や意見として問い合わせがあったか確認がなされた。各理事とも問い合わせはないとのことであった。
- ・会員からワクチン接種の実技講習会について問い合わせがあった。厚労省の担当に問い合わせているが返答はない。東京都のワクチン打ち手は看護師、歯科医師等で充足しているため検査技師へ対象広げることはないだろう。ただし、東京都ではなく職域接種で地方自治体が検査技師を認めれば打ち手になることは可能である。看護師教育を行う学校でその教員に筋肉注射の実技指導を受けて職域接種を行った例がある。また、東京都に限らず区や市に働きかけることも可能である。法律改正を診療放射線技師、臨床工学技士、救急救命士を含めて検討中のため、状況が変わる可能性がある。また、オミクロン対応ワクチン接種に伴い、接種期間が短縮され打ち手不足となる可能性がある。

### 10) その他

- ・特になし

### 3. 審議事項

- 1) 新入会会員35名（新入会29名、再入会6名）について審議の結果、承認された。
- 2) 賛助会員申込書改定について審議の結果、承認された。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し21時に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始異常なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

2022年10月19日（水）  
公益社団法人 東京都臨床検査技師会  
議事録作成 末永晴香

議長  
(原田)

原田典明



監事  
(高橋)

高橋秀治



監事  
(佐野)

佐野和三



監事  
(遠藤)

遠藤盛人

